

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2022年3月期 第2四半期

レイズネクスト株式会社

目 次

1. 2022年3月期第2四半期決算	・ ・ ・	3	2. 2022年3月期業績見通し	・ ・ ・	12
1) 事業環境	・ ・ ・	4	1) 業績見通し	・ ・ ・	13
2) 業績概要	・ ・ ・	5	2) 受注高	・ ・ ・	14
3) 受注高	・ ・ ・	6	3) 完成工事高	・ ・ ・	15
4) 完成工事高	・ ・ ・	7	3. 配当	・ ・ ・	16
5) 完成工事総利益・営業利益	・ ・ ・	8	1) 2022年3月期配当予想	・ ・ ・	17
6) 当期純利益	・ ・ ・	9			
7) 受注残高	・ ・ ・	10			
8) 貸借対照表	・ ・ ・	11			

1. 2022年3月期 第2四半期決算

1) 事業環境

国内経済

- 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況の中で推移
- 個人消費が低迷し、生産、投資、企業収益等の一部で持ち直しの動きがあるが、先行きは依然として不透明

事業環境

- 前年度はメンテナンス分野で石油・石油化学関連の定期修理工事が多い年
- 当年度はこれらの定期修理工事が少なく、上期に集中するため、通期では受注高・完成工事高が減少の見込み



当社の対応

- メンテナンス分野では、日常保全やタンク関連工事の拡大に注力
- エンジニアリング分野では、一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラントや再生可能エネルギー関連の工事の拡大に注力

2) 業績概要

➤ 受注高は期初予想を下回り、完成工事高は概ね期初予想どおり、各利益は期初予想を上回る

	期初予想	2021.09	増減	増減率
受 注 高	655	620	-35	-5.3%
完 成 工 事 高	685	673	-12	-1.8%
完 成 工 事 総 利 益	77.0	89.3	+12.3	+16.0%
(率)	11.2%	13.3%	+2.1%	—
営 業 利 益	44.5	56.2	+11.7	+26.3%
(率)	6.5%	8.3%	+1.8%	—
経 常 利 益	45.5	57.6	+12.1	+26.6%
(率)	6.6%	8.6%	+2.0%	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	29.5	34.7	+5.2	+17.6%
(率)	4.3%	5.2%	+0.9%	—

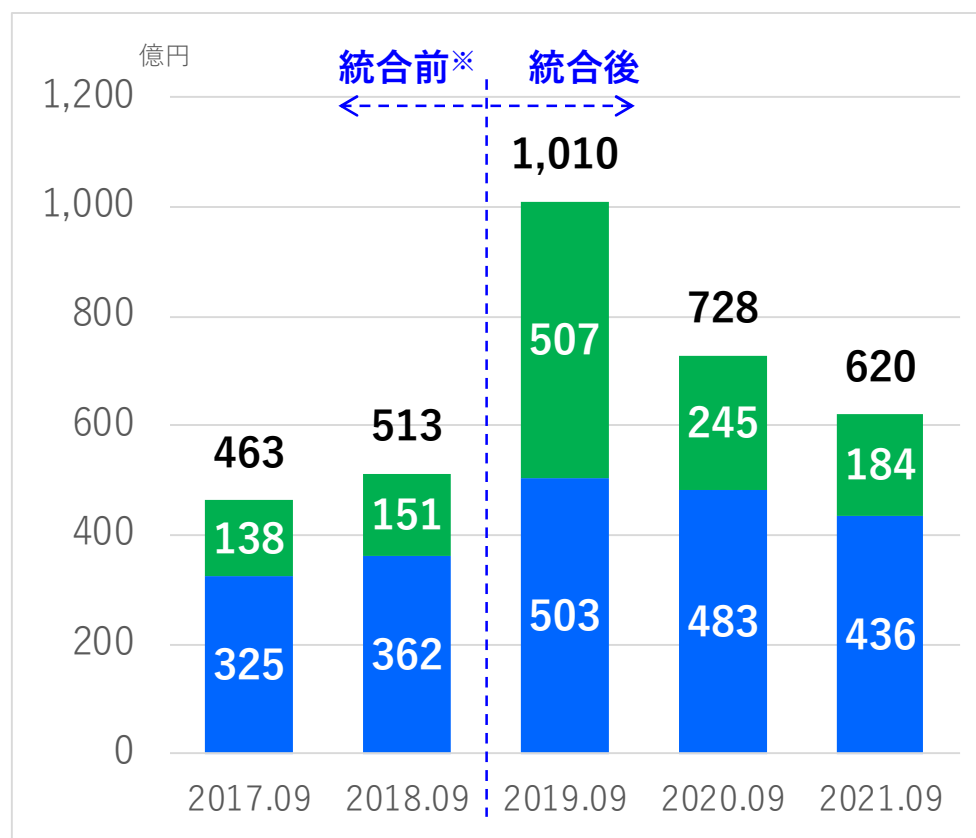
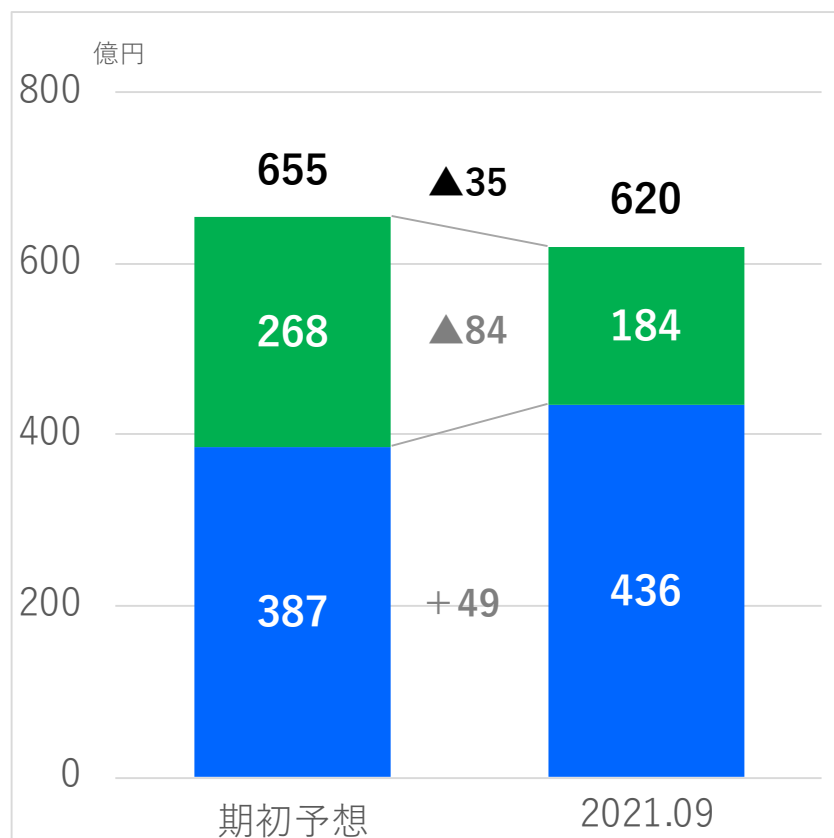
(参考) (単位：億円)

前期（2020.09）との差異		
	前期比	増減率
728	-108	-14.8%
633	+40	+6.3%
77.5	+11.8	+15.2%
12.2%	+1.1%	—
48.3	+7.9	+16.4%
7.6%	+0.7%	—
49.6	+8.0	+16.1%
7.8%	+0.8%	—
32.2	+2.5	+7.8%
5.1%	+0.1%	—

3) 受注高

- メンテナンスでは、定期修理工事での追加工事の増加、期ずれにより期初予想を上回る
- エンジニアリングでは、案件の期ずれ、失注、中止・延期などにより期初予想を下回る

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



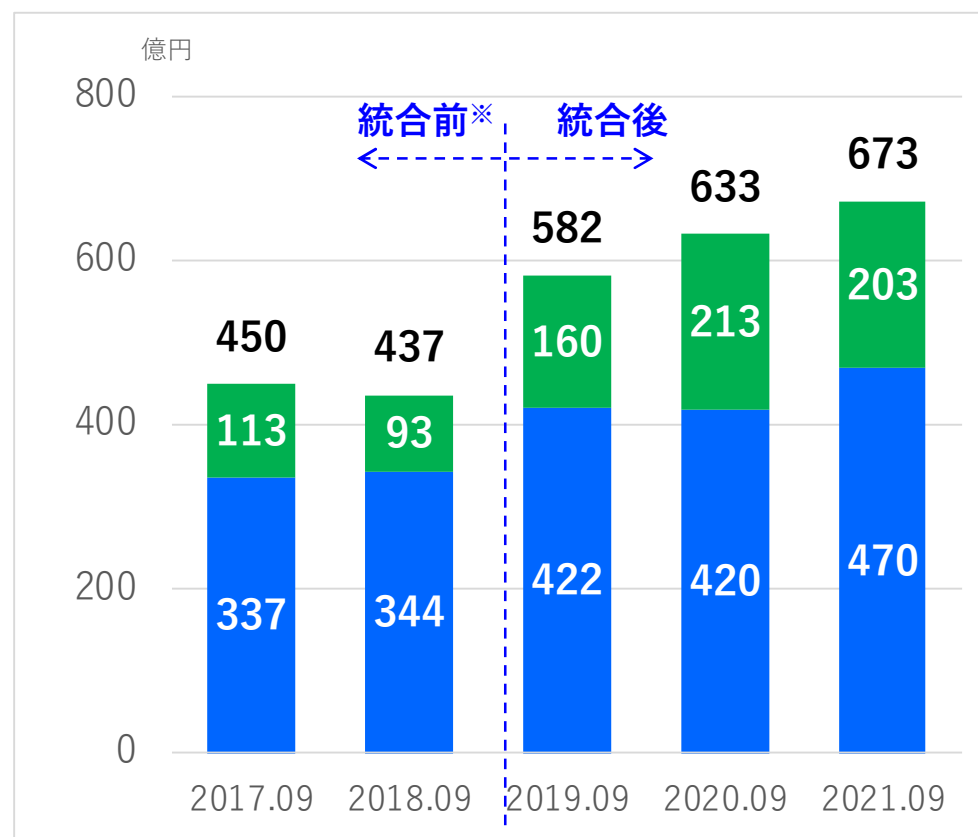
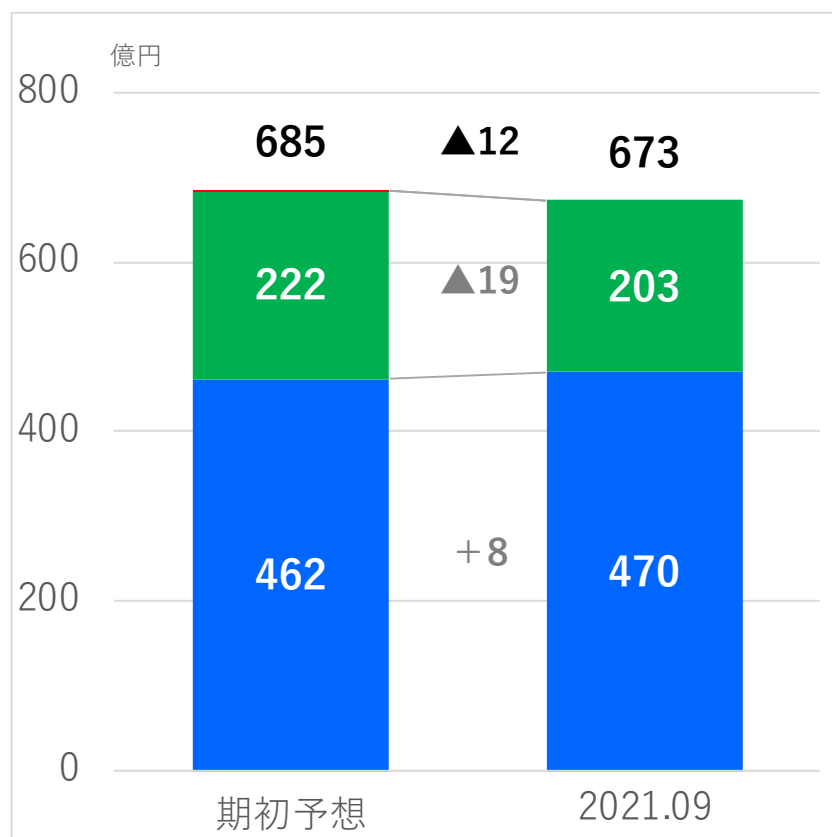
特記事項

① 2019年9月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたものを含む。

4) 完成工事高

- メンテナンスでは、定期修理工事での追加工事の増加により期初予想を上回る
- エンジニアリングでは、工期の変更に伴う期ずれなどにより期初予想を下回る

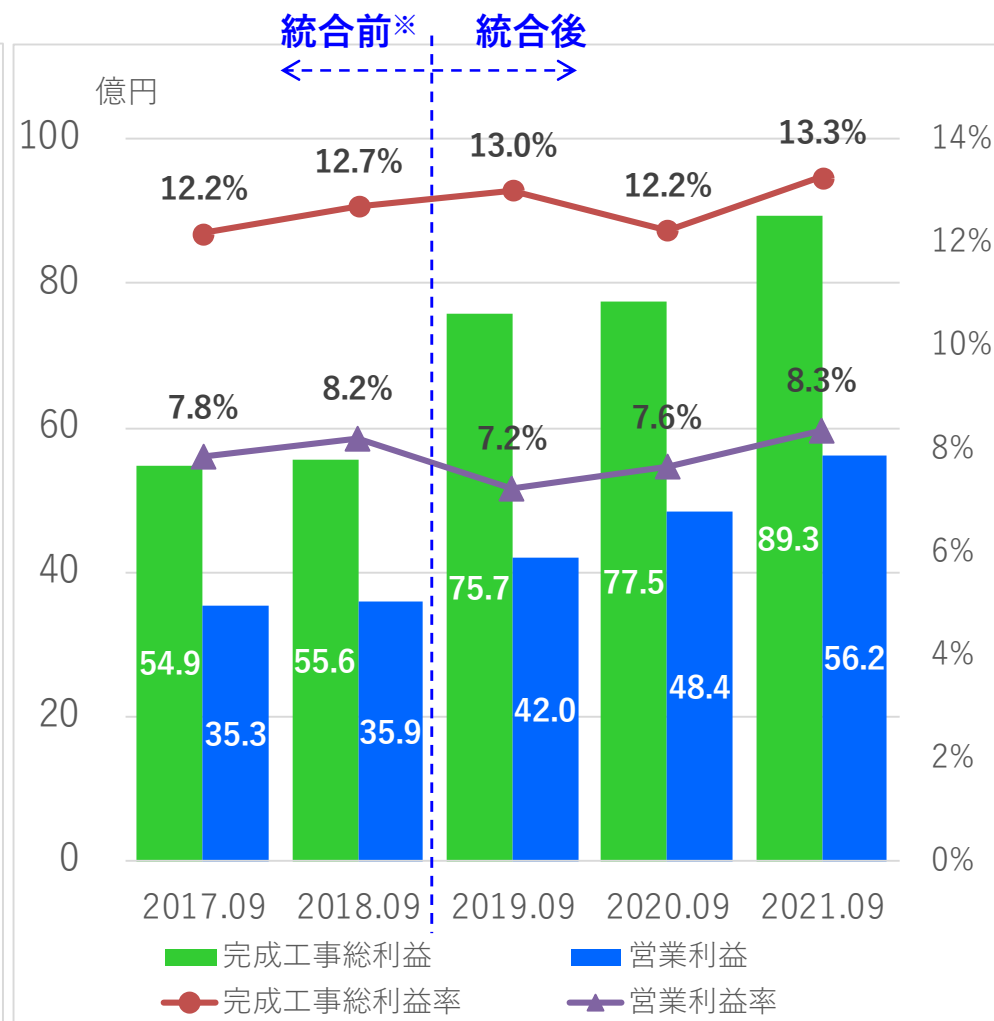
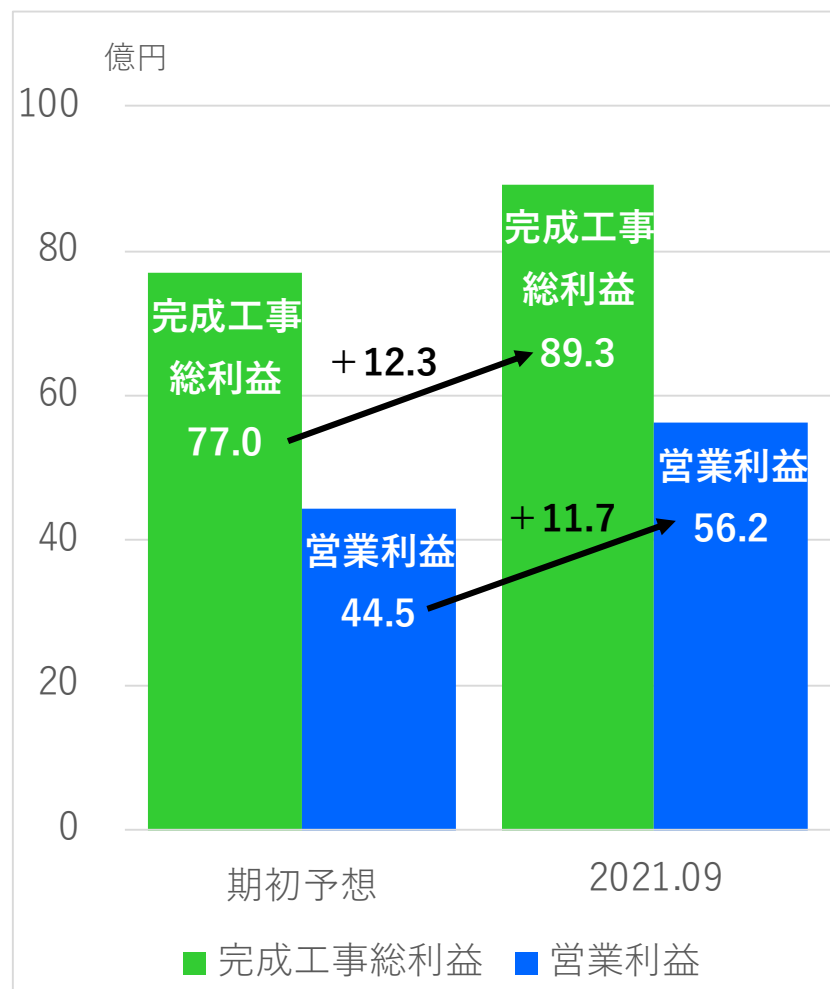
■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

5) 完成工事総利益・営業利益

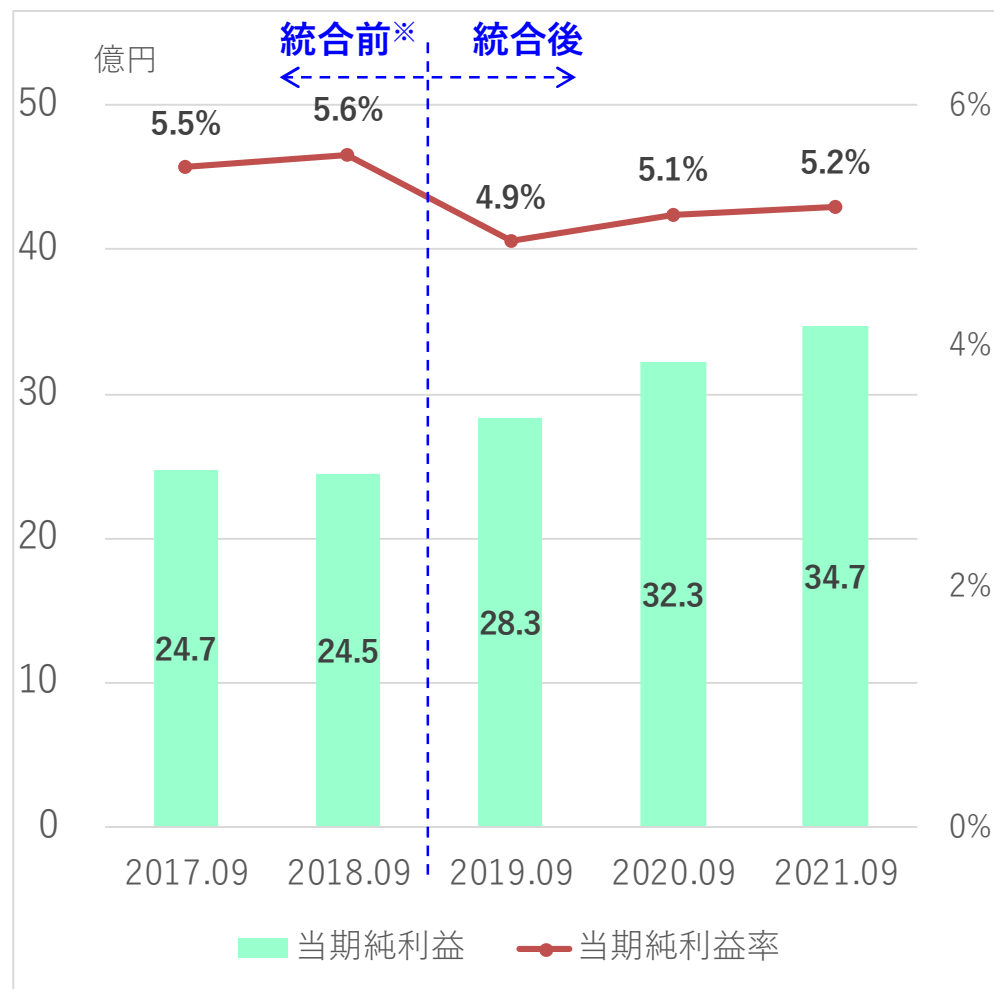
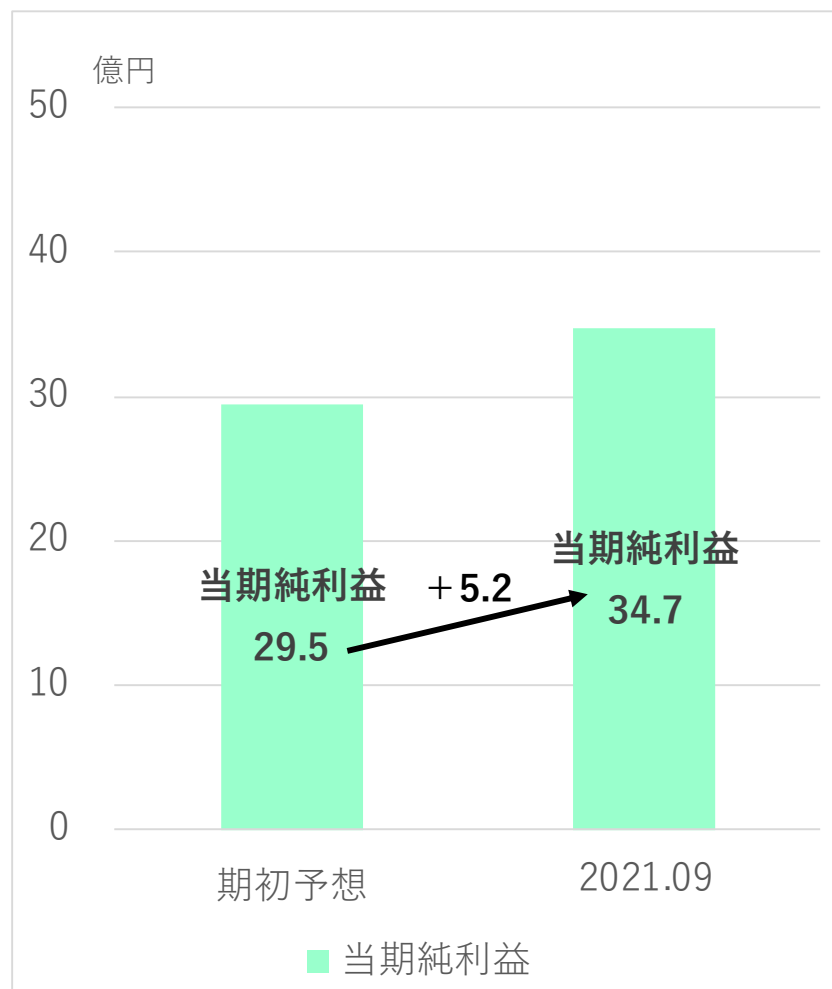
- 大型の定期修理工事での追加工事量が当初の想定を上回ったことから、採算性が向上し、完成工事総利益・営業利益が期初予想を上回る



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

6) 当期純利益

➤ 完成工事総利益が増加したことにより、当期純利益は期初予想を上回る

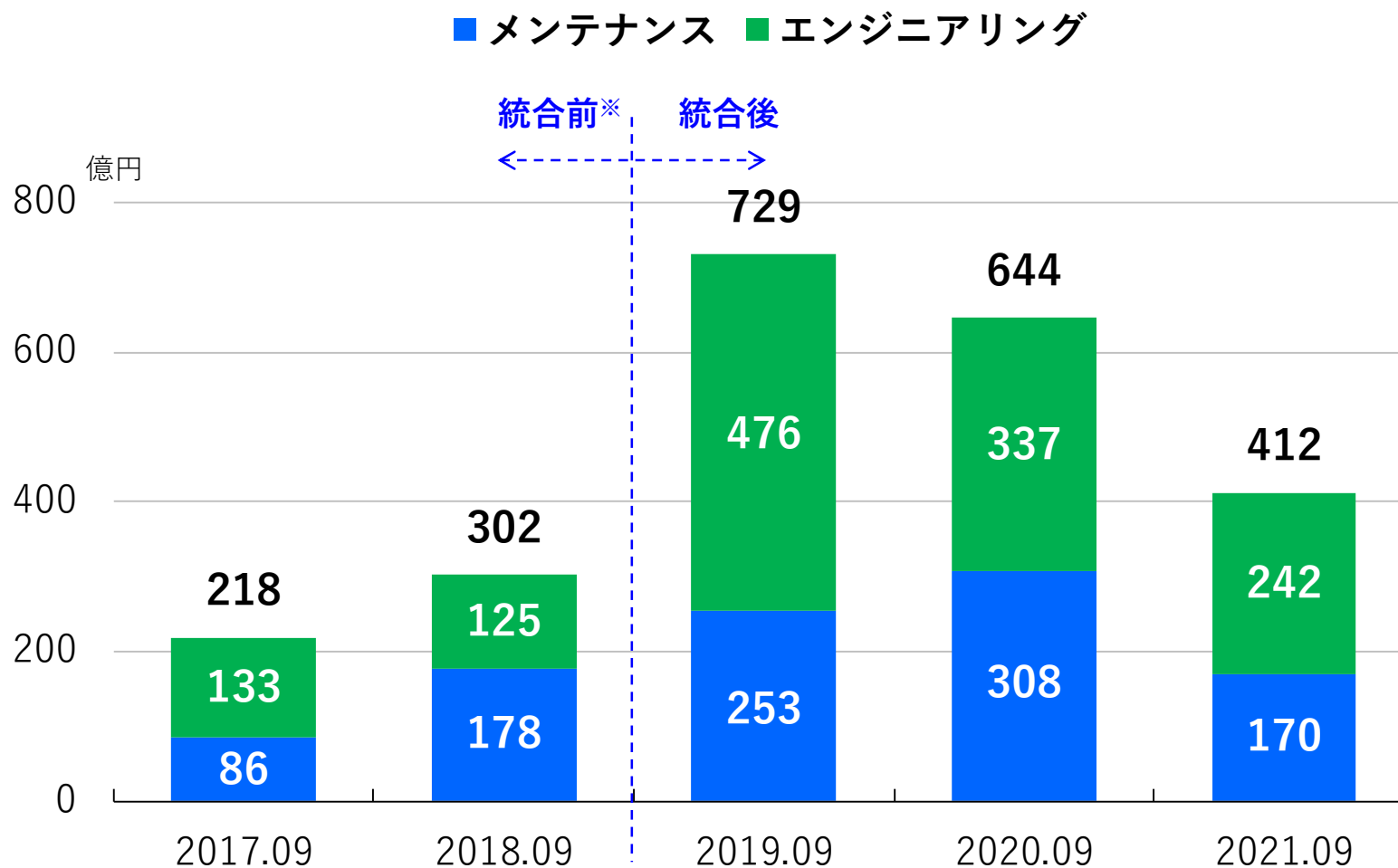


※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 上図のグラフの2019.09の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いた当期純利益となっております。

7) 受注残高

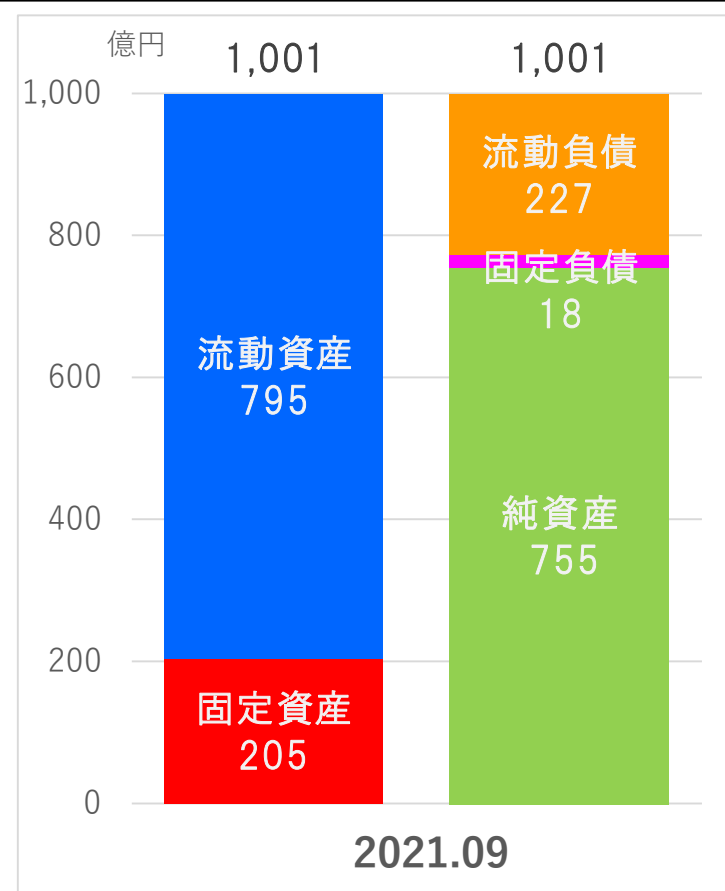
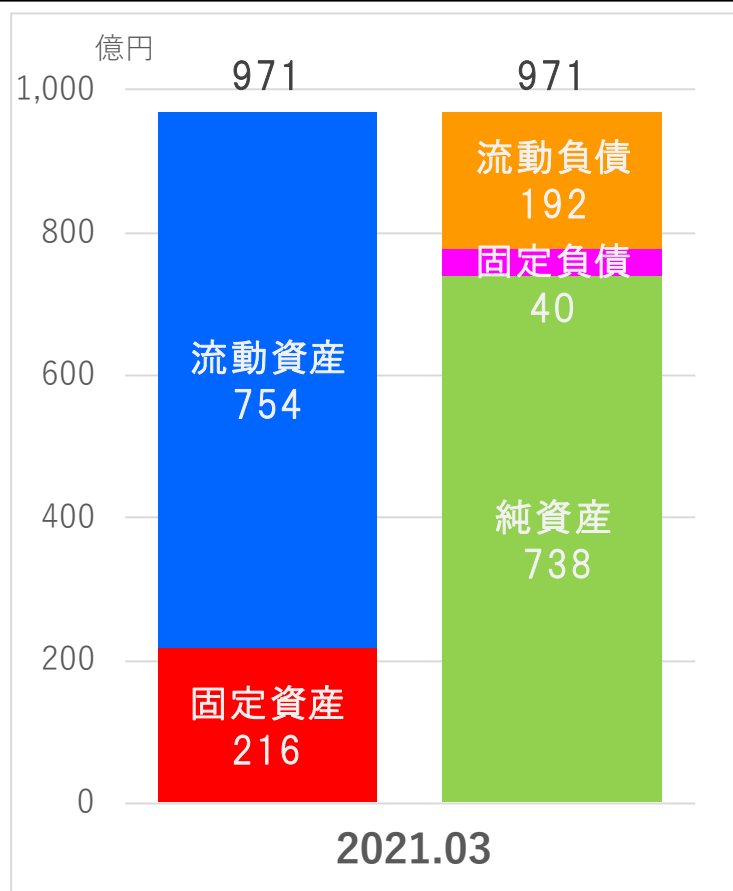
- メンテナンスでは、下期に定期修理工事が少ないため、前年同期比で減少
- エンジニアリングでは、改造・改修工事などの受注高の減少により、前年同期比で減少



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

8) 貸借対照表

- 資産の部・・・流動資産および固定資産に大きな変動なし
- 負債の部・・・流動負債で短期借入金が増加
固定負債で退職給付に係る負債が減少
- 純資産の部・・・当期純利益、退職給付に係る調整累計額等が増加
- 自己資本比率は74.7%



2. 2022年3月期業績見通し

1) 業績見通し

- 受注高、完成工事高は期初予想より変更なし
- 各利益は、第2四半期での完成工事総利益の増加を反映し、期初予想を増額修正

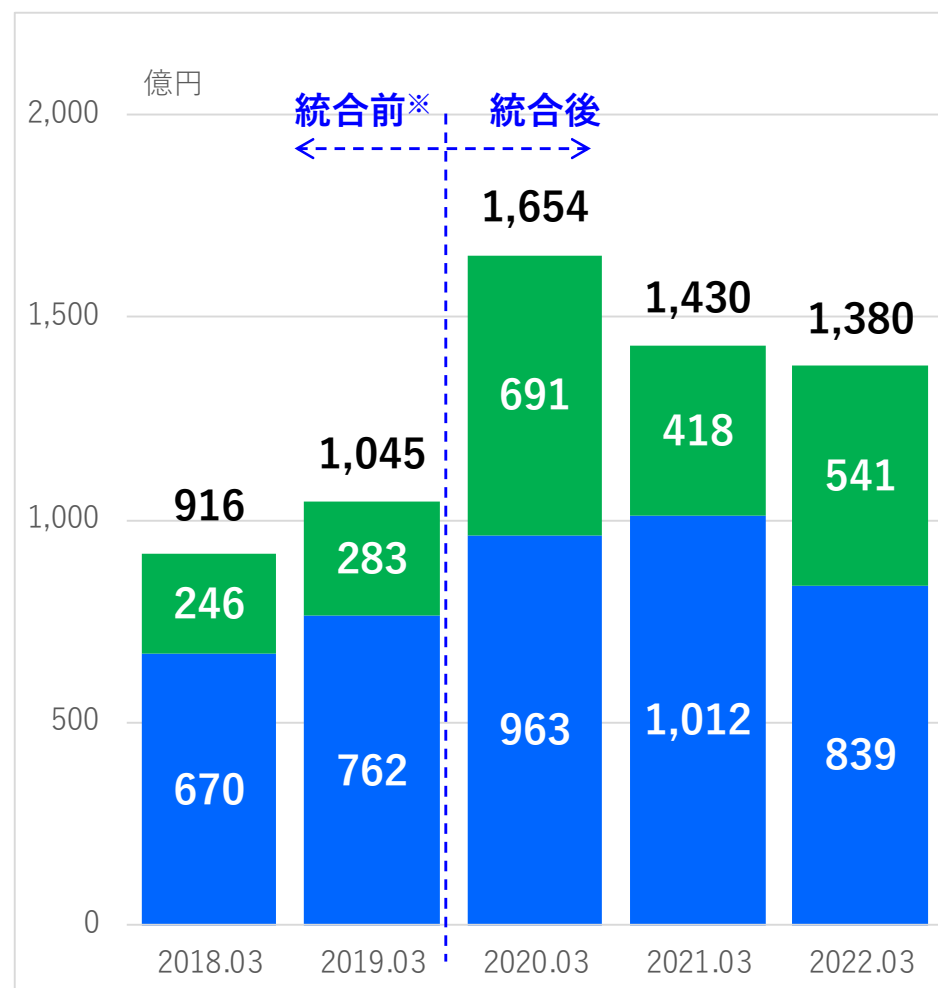
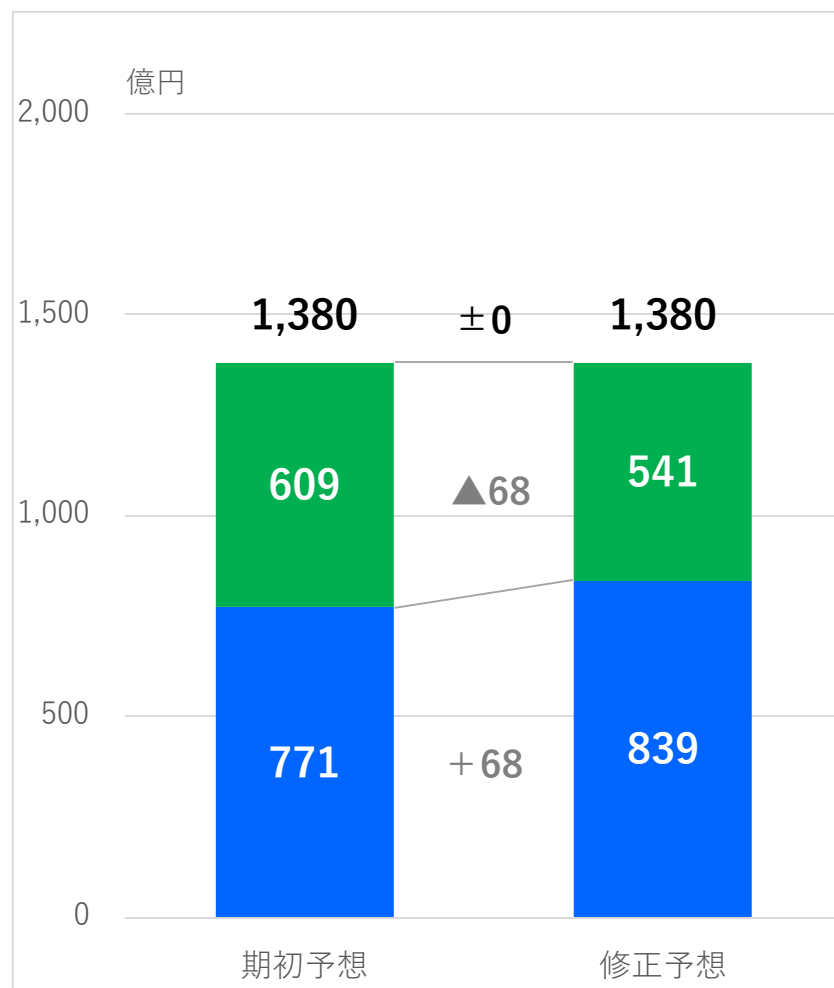
(単位：億円)

	通			期	
	期初予想	修正予想		増減	増減率
		第2四半期 実績	通期予想		
受注高	1,380	620	1,380	+0	+0.0%
完成工事高	1,330	673	1,330	+0	+0.0%
完成工事総利益	143.0	89.3	154.5	+11.5	+8.0%
(率)	10.8%	13.3%	11.6%	+0.8%	-
営業利益	78.0	56.2	86.5	+8.5	+10.9%
(率)	5.9%	8.3%	6.5%	+0.6%	-
経常利益	80.0	57.6	88.5	+8.5	+10.6%
(率)	6.0%	8.6%	6.7%	+0.7%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	51.5	34.7	58.5	+7.0	+13.6%
(率)	3.9%	5.2%	4.4%	+0.5%	-
1株当り当期純利益	95.07円	64.14円	108.00円	+12.93円	+13.6%
受注残高	516	412	515	-1	-0.2%

3) 受注高

➤ 期初予想よりメンテナンスが増加し、エンジニアリングが減少の予想

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



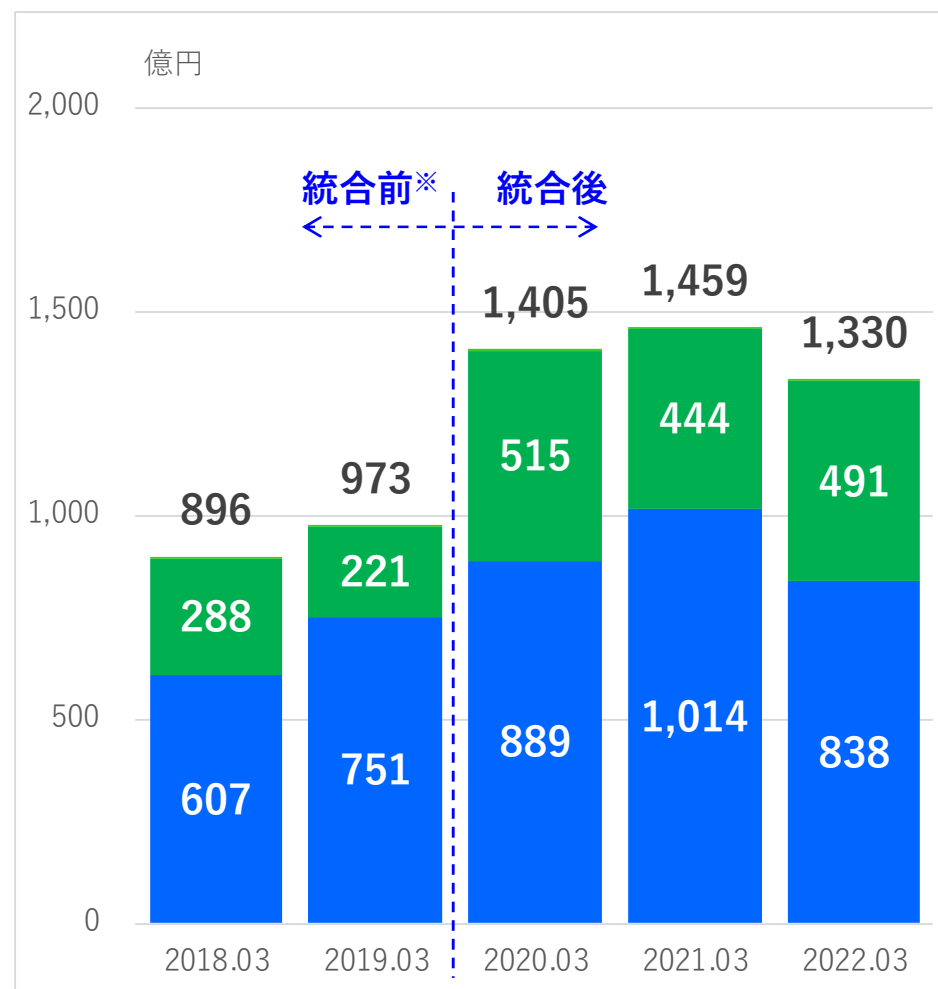
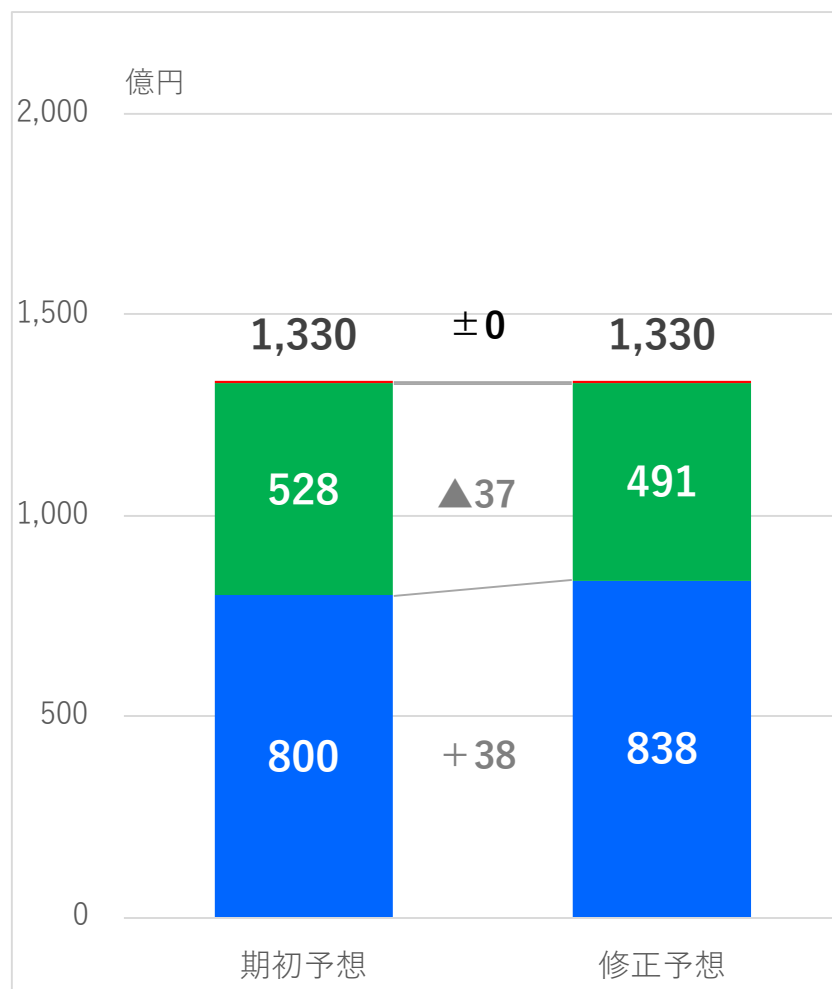
※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 2022.03の数値は予想値となっております。

4) 完成工事高

➤ 期初予想よりメンテナンスが増加し、エンジニアリングが減少の予想

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 2022.03の数値は予想値となっております。

3. 配当

1) 2022年3月期配当予想

配当に関する基本認識および配当方針

当社グループの事業は、石油、石油化学、一般化学等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると認識しております。

基本認識のもと、株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面にも充分留意し、40%以上の連結配当性向を目標といたします。

2022年3月期配当予想

●期末配当 47円 （連結配当性向 43.5%）

この資料には、2021年11月12日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8

経営企画部 業績・IRグループ

TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120

E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp

URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社